



令和5年12月

桃山中学校ハッピー桃太郎だより

～誇りのもてる学校をめざして～



『師走を迎えて』

校長 谷川 正己

令和5年がもうすぐ終わろうとしています。今年は暖冬で、なかなか寒くなりませんでした。先週末から一気に師走の空模様となりました。そんな12月ですが、校内で二つの取組を行いました。

一つは、二年生全員による熟議です。テーマは「学力の向上」でした。皆が落ち着いた学校生活を送れている今こそ、どのような工夫をして学ぶ力を向上していけるか、新しく学校のリーダーとなる二年生全体がグループに分かれ、保護者、地域、教員それぞれの立場の大人を交えて議論しました。参加された保護者・地域の代表の方からは、「多くの子どもたちと直接話が聞けるとてもよい機会でした」「世代の違う生徒さんたちがしっかりとした考えをもっていることがわかってうれしかった」というような声が聞かれました。2年生からも様々なアイデアや学習の仕方を見直すなど前向きな意見、「保護者・地域の方と話し合うことができてとても良かった」などの感想が多く寄せられました。今後もこのような機会を増やしていきたいと考えています。保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

二つ目は、「校則見直し委員会」です。9月に各学級や生徒集会で話し合いを行い、出た意見をもとに、各学年の代表生徒10名と教員及び保護者・地域の代表者10名の合わせて20名で協議しました。会議では、主に髪型、靴・靴下の色、腕時計の着用について意見が交わされました。参加者それぞれの立場・視点での考えや質問が出され、きまりについてのメリットや変更することへのリスクなどの協議が重ねられました。今後は、市が発出した「校則見直しに関するガイドライン」に沿って、生徒会が今回の協議結果をもとに校則改定案を作成し、校長に提案することになります。その案を関係者の意見を聴取したうえで、3年生在学中のできるだけ早い時期に生徒に新しい校則を示し、理由を説明したいと考えています。なお、この校則見直し委員会の様子は、NHKからの取材を受け12月21日(木)18:10～19:00「情報維新!やまぐち」で放送されます。ぜひ、ご覧ください!

<校則見直し委員会の様子>

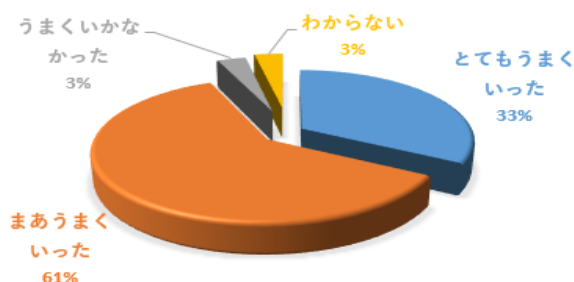


第3回学校運営委員会(熟議)

12月5日(火)の6校時に、学校運営協議会を行いました。今回は2年生全員参加による熟議(熟慮と討議)を体育館で行いました。生徒は10班に分かれ、教職員や協議会委員・保護者の代表方々とともに「桃山中の学ぶ力を上げるために、地域・家庭・学校それぞれで何ができるか」を話し合い、ペーパーにまとめて代表生徒が発表しました。短い時間でしたが、「ふれあいセンターを開放してもらおう」などの具体的な意見が多数出たこともさることながら、地域・保護者の方々と子どもたちが一緒になって桃山中のことを考えること自体に大変意味があり、有意義な時間となりました。

生徒の感想も「ずっと参加してみたかった。課題がたくさんだったので、頑張っていきたいと思った」「いろんなグループの意見を聞いていろいろできることがあるんだと思った」等前向きなものが多く、事後アンケートでは、約94%の生徒が「話し合いがうまくいった」約73%の生徒が「また参加してみたい」と答えています。

熟議(話し合い)はうまくいきましたか



ピカピカ大作戦(地域清掃ボランティア)

ボランティアの中学生が地域の方とともに校区を清掃するという、「ピカピカ大作戦」が12月2日(土)に小羽山地区で、12月9日(土)に新川地区で行われました。ふれあいセンターを中心に、落ち葉やゴミを集める作業です。これは過去の学校運営協議会で地域のために何かできることを、当時の中学生が提案したことからはじまった、と聞いています。毎年恒例になりつつあり、気持ちよく新しい年を迎えることができます。生徒からは「よく通る道を自分たちの手できれいにして、思い入れが強まった」「ごみは意外と少なかったけど、たばこの吸い殻が目立った。ポイ捨ては絶対止めてほしい」などの声が上がっていました。



【宇部日報にも載りました!】

